

施策が目指す市の姿

■市民と行政の連携ができている

地域の課題解決に向けて、市民と行政が共通の目的意識をもって連携することで、協働体制が確立されたまちづくりを目指します。

成果指標

指標名	単位	現況値	目標値
		H25	H30
①パブリックコメント ⁸³ の実施回数（5年間の累計）	回	13 (H20-24)	26 (H26-30)

現状と課題

- ・近年、市民ニーズが多様化・複雑化しており、行政の行う公平で均一的なサービスだけでは、そのニーズへの対応が難しくなっています。このため、地域の課題を、地域で考え、行動していけるような「市民協働」を推進することが求められています。
- ・ボランティア団体などの協力を得た事業の実施やNPOへの委託を行っていますが、行政の事務を見直すことで、協働できる事務事業を増やしていくことが必要です。
- ・ボランティア団体や公共的サービスを行うNPOが活動しやすい環境づくりや団体間の連携を図るためのネットワーク構築が課題となっています。このため、市における協働に関する窓口の充実が求められています。

施策の内容

1) 協働体制の整備

- ・市民と行政が協働して地域の多様な課題に取り組むため、幸手市協働のまちづくり指針に基づき、協働のまちづくりを推進します。
- ・計画などの策定において、委員の公募や市民ワークショップの開催、パブリックコメント制度の実施などを積極的に取り入れ、企画段階から広く市民の意見が反映できるようにします。

83 市の施策等の策定時において、事前に案の趣旨や内容等を公表し、広く意見を公募する手続。

2) まちづくり活動の支援

- ・市民や各種団体が主体となるまちづくり活動を、積極的に支援します。
- ・市内で活動するNPOや各種団体などに関する情報提供を行います。
- ・区長会などの地域団体やNPOやボランティア団体と連携し、協働による事業を推進します。
- ・地域の新たな担い手として、退職を迎えた市民の地域活動などへの参加の推進を図ります。

協働の役割

市民・事業者等	・それぞれの個性・能力・経験を活かし、自主的、主体的にまちづくり活動に参加します。 ・自分たちのまちをよりよくするための共通目標を持ち、地域の問題解決に向けて協力しあう意識を持ちます。 ・市民グループを組織するなど、積極的にアイデアを提案します。
行政	・幸手市協働のまちづくり指針に基づき、市民との協働に取り組みます。 ・情報提供に努めるとともに、活動場所を提供するなど、まちづくりにおける課題の発見と解決に向けた取り組みを支援します。 ・地域で活動している団体の情報を整理し、連携を図ります。



■ 市民検討会議

施策が目指す市の姿

- 市民が地域活動に参加している
- 市民団体間の連携により、地域の問題に取り組んでいる

市民がさまざまな機会や場を活用して、積極的に地域活動に参加することで、地域内の問題を市民同士で解決できるまちを目指します。

成果指標

指標名	単位	現況値	目標値
		H25	H30
①クリーン作戦 ⁸⁴ の参加人数	人	1,072	1,100

現状と課題

- ・ 社会情勢の変化や、価値観の多様化により、地域のコミュニティは少しずつ弱体化しています。一方、高齢化等の進展や災害時の対応など、地域の中で助け合いが求められる局面が今後ますます増加すると予測されるため、市民の積極的な参加のもと、地域コミュニティの中で、課題を解決できるようになることが求められます。
- ・ 本市では、地域活動に対する市民の関心を高めるため、区長会議を通して地域コミュニティの活性化を図るとともに、市民まつりなどの機会を活用して啓発活動を行っています。今後もさまざまな機会において、市民との協働によるまちづくり活動や、地域での助け合いなどを進めることが課題となっています。

施策の内容

1) コミュニティ活動の推進

- ・ 区長会の役員会や研修会等の実施への協力等を行い、コミュニティ活動が主体的かつ活発に行われるよう支援します。
- ・ クリーン作戦及び花いっぱい運動⁸⁵等を通して、コミュニティ活動の推進を図ります。
- ・ いざというときに地域で災害に対応できるように、自主防災組織の支援・育成に努めます。
- ・ 地域と関係機関で連携しながら要援護者への支援体制を深めるなど、地域の中で生活する市民同士が助け合いができる関係づくりを構築します。

⁸⁴ 行幸湖や江戸川などを対象に、河川や湖沼の周辺の掃除を、地域の方が主体となって行う事業

⁸⁵ 花を植えることで市内の景観を良くする目的で作られた運動。

2) コミュニティ意識の醸成

- ・市民まつり等を通じ、市民全体の連帯感の醸成を図るとともに自分たちの地域は自分たちで創るという自治意識の高揚を図ります。
- ・コミュニティ活動へ積極的に参加してもらうために、さまざまな機会を活用した啓発活動や情報提供の充実を図ります。

協働の役割

市民・事業者等	・地域コミュニティの必要性を理解し、積極的に地域活動に参加します。
行政	・市民が中心となって地域で行うコミュニティ活動を支援します。 ・地域コミュニティの充実のために必要な情報提供を行います。



■ 行幸湖クリーン作戦

施策が目指す市の姿

■一人ひとりが人権に対する意識を高く持っている

人権問題解決に向けて一人ひとりが正しい理解と高い意識をもつことで、市民が安心して暮らせるまちを目指します。

成果指標

指標名	単位	現況値	目標値
		H25	H30
①研修会などに参加した人数	人	750	800
②人権啓発ビデオ貸出件数	件	4	10

現状と課題

- ・さまざまな人権問題解決に向け、正しい理解と認識の徹底を図るべく、各種研修会等や各種催し物、さらには広報紙、人権啓発物品を通じた人権尊重意識の普及啓発を推進しています。しかし、依然として差別事象が発生している同和問題や学校でのいじめ、不登校、インターネットへの悪質な書き込み、障がい者や女性への差別などが社会問題となっております。
- ・今後も、全ての人々が個人として尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現に向け、啓発活動などの効果的な事業を継続的に実施していくことが必要です。

施策の内容

1) 啓発活動の推進

- ・研修会等の開催を通じて啓発活動の充実を図ります。
- ・広報紙等への啓発記事の掲載を通じて広報活動の充実を図ります。
- ・人権啓発物品などを利用し、地域住民の人権意識の高揚を図ります。

2) 人権相談活動の充実

- ・いじめや差別、嫌がらせなどで悩んでいる市民の人権擁護を進めるため、月に1回の人権相談と年2回特設相談の開設を継続します。
- ・人権相談を担当する人権擁護委員⁸⁶に対して、自己啓発及び相談業務向上に向けた各種研修会などへの参加を促します。

⁸⁶ 人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権に関する啓発活動をしったりする民間のボランティア。

3) 人権・同和教育の充実

- ・家庭、地域、学校、職場など、あらゆる場での各種研修会等の実施を通じて、より一層の人権教育を推進します。

4) 市民活動の支援

- ・人権問題解決に向けて取り組む市民活動に対して、施設や情報提供を行うなど、適切な支援を継続します。

5) 生活環境の充実

- ・道路など生活環境基盤整備に遅れのみられる地域について、地域の意見などを鑑み、生活環境の改善を進めます。

協働の役割

市民・
事業者等

- ・あらゆる差別や偏見に対して、その過ちや悪い点を指摘し、改めるよう行動をとります。
- ・人権問題解決に向けて市民活動を行います。

行政

- ・職員一人ひとりが、人権問題に対する正しい理解と知識を深め、市民に対して啓発活動を行います。



■ 埼葛人権を考えるつどい

施策が目指す市の姿

■男女があらゆる分野で対等な立場で活動している

男女がお互いを理解・尊重し合えるよう、市民一人ひとりの意識を高めることで、性別に関係なく、能力や個性を発揮できる社会の実現を目指します。

成果指標

指標名	単位	現況値	目標値
		H25	H30
①男女間の固定観念にとらわれない人の比率 ⁸⁷	%	55.4	60

現状と課題

- ・生活水準の向上や社会環境の変化により、女性の社会進出の機会が増大しています。それに伴い、男女平等に向けた法整備が進んでいますが、依然として格差が見られます。また、セクシュアルハラスメント⁸⁸やドメスティック・バイオレンス（DV）⁸⁹などの問題も深刻化しています。
- ・男女がお互いを理解・尊重し合い、あらゆる分野において共に参画することを目指し、啓発活動等を通して、男女平等意識の向上を図ることが求められています。

施策の内容

1) 推進体制の充実と市民活動の支援

- ・職場、学校、地域、家庭などにおける男女共同参画を推進するために、情報紙「モア」の発行により啓発活動を継続します。
- ・第3次幸手市男女共同参画プランの見直しを検討します。

2) 男女共同参画社会形成への意識づくり

- ・固定的性別役割分担意識にとらわれない多様な生き方の浸透を推進するために、引き続き「女と男の共生セミナー」等の啓発活動を実施します。

87 人権推進課で例年行っている、女と男の共生セミナーにおいて、中学生を対象にアンケートをとり、その内の【「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方もありますがどう思いますか?】という設問結果に基づく性別の固定観念にとらわれない人の比率のこと。

88 主として職場で行われる「性的いやがらせ」。相手の意に反した性的な性質の言動を行い、それに対する対応によって仕事をする上で一定の不利益を与えたり（対価型）、またはそれを繰り返すことによって就業環境を著しく悪化させる（環境型）こと。

89 配偶者、あるいは恋人など親密な関係にいたり、過去にあった者から振るわれる暴力。

3) 男女が共に社会参加できる環境づくり

- ・関係機関との連携によって、意欲ある女性が能力を十分発揮できる環境の整備や雇用の安定に努めます。
- ・男女共同参画の推進に向けて、意識の向上を引き続き図ります。

4) セクハラ・DV 対策

- ・セクシュアルハラスメントやドメスティック・バイオレンス（DV）、ストーカーなどによる被害者のためのサポート体制の充実を図るとともに、心のケアや自立支援を図ります。

協働の役割

市民・事業者等	・職場、学校、地域、家庭などで男女共同参画に努めます。 ・家族がお互いに協力し、家事、子育て、介護などを行います。 ・困ったときに行政のサポート体制を利用し、地域を介した問題解決を図ります。
行政	・男女共同参画を市民などと協働、連携しつつ、率先して取り組みます。 ・相談窓口に関心のケアにも対応できる職員を配置するなど、相談しやすい体制を整えます。



■ 女と男の共生セミナー

施策が目指す市の姿

- 世界の恒久平和を願う意識が醸成されている
- 市民の国際理解が深まっている
- 交流を通して市に住んでいる外国人が暮らしやすいと感じている

市民が平和的かつ国際的な地域づくりに取り組めるよう、平和への啓発活動を通して、平和に対する意識が醸成されることを目指します。また、市民が国際理解を深めることで、外国人を含め市民全体が暮らしやすいと感じられるようなまちを目指します。

成果指標

指標名	単位	現況値	目標値
		H25	H30
①ワンナイトステイ ⁹⁰ 受け入れ外国人数	人	2	5
②国際交流協会の加入会員数	人	72	80

現状と課題

- ・本市では、市内の中学生を対象に「平和の作文」を実施し、広島市平和祈念式典に参加しています。その体験を学校に持ち帰ることで、平和社会の実現に向けた意識の醸成と啓発を行っています。
- ・本市における外国人数は、ブラジルやフィリピンをはじめ、さまざまな国籍を持つ人が居住しています。
- ・国際理解推進のために、国際交流協会が実施している語学教室や交流事業などの活動を支援することで、多文化の理解を深める取り組みを行いました。引き続き市民一人ひとりの相互理解のために、市民が外国人との交流を深める機会をより増やすことが必要です。
- ・外国人への情報提供や外国語による案内表示の充実を図ることが必要です。

施策の内容

1) 平和事業の推進

- ・平和の尊さを啓発する事業を推進し、市民の平和に対する意識を醸成する取り組みを継続します。

⁹⁰ 埼玉県制度で、日本語で気軽に会話ができる1泊2日のホームステイによる、身近な国際交流事業の1つ。

2) 国際交流の充実

- ・市民が外国人と交流を深めるための活動を行い、市民主体の国際交流活動を支援します。また、国際交流協会の活動を支援します。
- ・ワンナイトステイ事業のPRを行うことにより、外国人との交流を推進します。

3) 国際理解の推進

- ・国際交流協会が実施している語学教室や交流事業の支援を通じて、市民が多文化を理解できる機会の充実に努めます。

4) 多文化共生の地域づくりの推進

- ・多文化共生キーパーソン⁹¹と連携して、市内の外国人のサポートを実施します。
- ・多言語での相談に対応することを目指し、外国人が市内で生活するうえで必要な情報の提供に努めます。
- ・日本語学習機会の提供や外国語表記による案内・表示などの整備を進めます。

協働の役割

市民・事業者等	・平和に関する意識を深め、その実現に努めます。 ・市民がそれぞれの言語能力を活かし、外国人に対して直接情報提供をするなど、積極的に交流し多文化に対する理解を深めます。
行政	・平和社会実現に向けた意識の普及・啓発を行います。 ・国際交流の催しや活動団体に対して交流機会の提供、場所の手配及び情報提供を行います。

91 知事から委嘱を受け、外国人住民に行政情報などを提供しながら、生活相談などにも応じる者。